

令和6年度 第2回甲賀市行政改革推進委員会 会議録

日時：令和6年7月10日（水） 10：30－11：30

場所：甲賀市役所 4階 402会議室

<b>1. 審議</b>	
<b>第5次甲賀市行政改革大綱の策定について(諮問事項)</b>	
<p>【事務局説明】資料1、2について</p> <p>資料1の第5次行政改革大綱の（たたき台）では、本市を取り巻く状況、財務分析等から4つの方針を示し、さらに各方針に紐づく方策・テーマの11項目を示しており、今回これについて意見をいただきたい。</p> <p>資料2 第5次行政改革大綱にかかる答申（素案）については、大綱（たたき台）の内容と整合を図る形で素案を作成した。9月末までを目途にご意見をいただき内容を確定させていただきたい。</p>	
<b>【質疑応答】</b>	
委員長	事務局の説明についてご意見やご提案をいただきたい。
委員	資料1 P4 第5次行政改革大綱の重点テーマの⑦「公共資産マネジメントの推進」について、公共インフラの外部委託に関し甲賀市の状況を聞きたい。県内市町では公共資産マネジメントを民間へ委託する動きがあり、大津市では水道事業全般を外部委託する動きがある。甲賀市においてもそのような方針はあるのか。
事務局	甲賀市では、包括的な設備管理の委託はしていないが、事務手続きや現場での管理施工時の記録、料金の徴収について上下水ともに委託している。この方向性に変更予定はないと把握している。
委員	合併市町であれば、地理的に広範囲となりインフラの維持が難しくなると思うが、事例として長期間にわたり包括契約を結んだ結果、行政サービスの質が落ち、取り返しのつかないことになった事案を聞いた。これからさらに委託を検討していくのであれば、日本特有の自発的な公共サービスの質の高さを損なわないよう、慎重に進めていただきたい。
委員	資料2 P2 資産の老朽化度について、今後一気に維持経費が増加し、手が付けられなくなる懸念があるため、この数値に加え、基幹インフラに特化した老朽化率、実際の老朽化の進行度などインフラの維持にかかる財政負担をシビアに計算し、今後この点を詳しく検討できれば良いと考える。
事務局	特にインフラについては、大綱の中では個別計画の具体的内容を示していないが、水道事業の計画であれば、事業発注の予算を3億円程度としているところ、10億円まで上げて早めに整備するという見直しを行っている。マネジメント推進室としては、この水道ビジョンのみならず橋梁や道路についても個別の計画に沿った財源確保が可能であるかについて、見える化していくことが重要であると考えている。
委員	資料1 P4 第5次行政改革大綱の重点テーマ ③DX推進、④GX推進について、方針が重点テーマとどう関わりがあるのかわかりにくい。また、取組内容との関係性が見えないため、具体的な記載が必要ではないか。

事務局	<p>③DX推進については、職員が不足する中、各課の担当が専門性をもって取り組んでいる。市民の方の中には、障がい者かつ高齢者である場合など、窓口が複数に跨ることがあるが、このような場合にDX推進により行政サービスの効率化を図る狙いがあるため、これらの課題にかかる背景を記載することとしたい。また、申請手続き等の入り口をデジタル化することにより、職員にとっては事務手続きを効率化でき、市民も来庁せずに手続きができるなど利便性が向上することが狙いであるが、組織力の観点では作業の負担を減らして市民と向き合い課題解決に対応できる体制を作ることが狙いである。</p> <p>⑦GX推進については「選択と集中」による規律ある財政運営との方針の下に方策としているが、企業等が環境保全や地球温暖化に貢献する場を探しておられる場合に、そこに企業との協力関係による行政課題の解決や寄付が生まれることなどを見込んでおり、規律ある財政運営の一面として示したいと考える。</p> <p>以上の2点について、重点テーマ・方策名の名称やその内容を具体的な内容に修正する方向で検討したい。</p>
委員	GX推進において、入札の際に省エネ・再エネ仕様が今後必要になってくるのか。
事務局	特に公共施設の新築の場合には、設計段階から必要になってくると考える。それ以外にも企業が提案する行政が把握していない新しい技術の採用についても検討していくべきと考える。
<b>2. その他</b>	
<b>令和7年度以降の事務事業評価について（報告）</b>	
<p>【事務局説明】資料3、参考資料1、2について</p> <p>現状の事務事業評価では評価することが目的となっており、改善につながっていない。</p> <p>令和7年度以降の行政評価において、行政の様々な活動を「市民にとっての効果は何か」「当初期待した目的どおりに成果が上がっているか」といった視点で評価・検証し、職員自らがより効率的で効果的な行政運営を迫及する仕組みを構築していく予定である。</p>	
委員長	事務局の説明についてご意見やご提案をいただきたい。
委員	資料3 P3に施策評価を紐づける対象として市民意識調査が記載されているが、どのように実施している調査か。
事務局	秘書広報課により毎年実施している調査で、その内容は定型的なテーマと毎年異なる特定分野のテーマについて調査し、毎年市民の中から約3,000名を抽出し、書面により調査回答いただいているものである。年度末頃に調査結果にかかる報告書がまとめられるが、ここから出た課題や市民ニーズを施策評価と連携できればと考えている。
事務局	他にも事業のスクラップについて、民間の目線としてご意見をいただければありがたい。各課が利害関係者と近い立場であるため、なかなかスクラップを進めていけないという課題があるが、行政は民間と違い効率が悪いことを理由に事業をやめることができない中、限られた財源を有効に使うために改善していける仕組みづくりが必要と考えている。
委員	適切な行政サービスか否かについて、誰に対してのメリットなのか、それは公平性が高いのかについて、第三者にわかるように課題設定、執行状況、成果を公開する

	<p>ような取り組みはあっていいと考える。甲賀市においては合併市であり市域も広いのでバランスを取らなければならない要素もあると考える。</p>
委員	<p>A I やチャットG T P の利用状況はいかがか。とても優秀で事務処理が不要になる場面もあり、統計処理やデータから成文化することに活用できる。行政サービスにも十分活用できるのではないか。</p>
事務局	<p>I C T ビジョンを今年度見直しする予定であるが、先般の庁内会議でもその話が挙がっていた。他自治体では導入実績はあるが、甲賀市ではその取扱いについてのガイドラインをしっかりと構築していこうという段階である。ルール違反や情報漏洩に留意しており、今後ビジョンを見直していく中でどう活用していくかを検討する。</p>
委員	<p>守秘義務については懸念点であるが、単純なデータ整理では使えるのではないか。またルールを検討している間に、媒体が進化してしまう可能性もある。</p>
委員長	<p>その他の委員から意見等はあるか。</p>
委員	<p>区の行事に参加した際、区長から市への要望が通らない、その判断基準や優先順位がわからないとの声を聞いた。市の事業について公平性の観点からの透明性の担保や納得のいく説明は必要なものとする。</p>
事務局	<p>市民にとって基準がわからない、行政にとっても過去からの経緯から一律判断が難しい状況があることが課題と考える。また、事務事業評価の中でも、一定の基準の中で優先順位を示すなど見える化することで、市民の方も納得感を得られ、疑義がある場合には議論ができると思う。このような事業の公平性や透明性の担保にかかるご意見については、事務事業評価の仕組みを考える上でも参考にさせていただきたい。</p>
委員長	<p>情報公開や優先度については、行政の昔からの普遍的な課題であるため、ぜひ参考にさせていただきたい。</p>
委員	<p>民間と違って行政の立場では、極端にスクラップを進めることは難しいが、市民意識調査でも、年齢層や地域により考え方が違うと考える。今後そのような詳細な点まで意識し、調査してもらえるとありがたい。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 次回の委員会では、以上の意見を受け修正等したものを提示させていただきたい。</p>
委員長	<p>これにて、本日の委員会を終了します。</p>